

自己評価結果公表シート

本庄すみれ幼稚園

1. 園の教育目標

「強い心」「美しい体」「考える力」

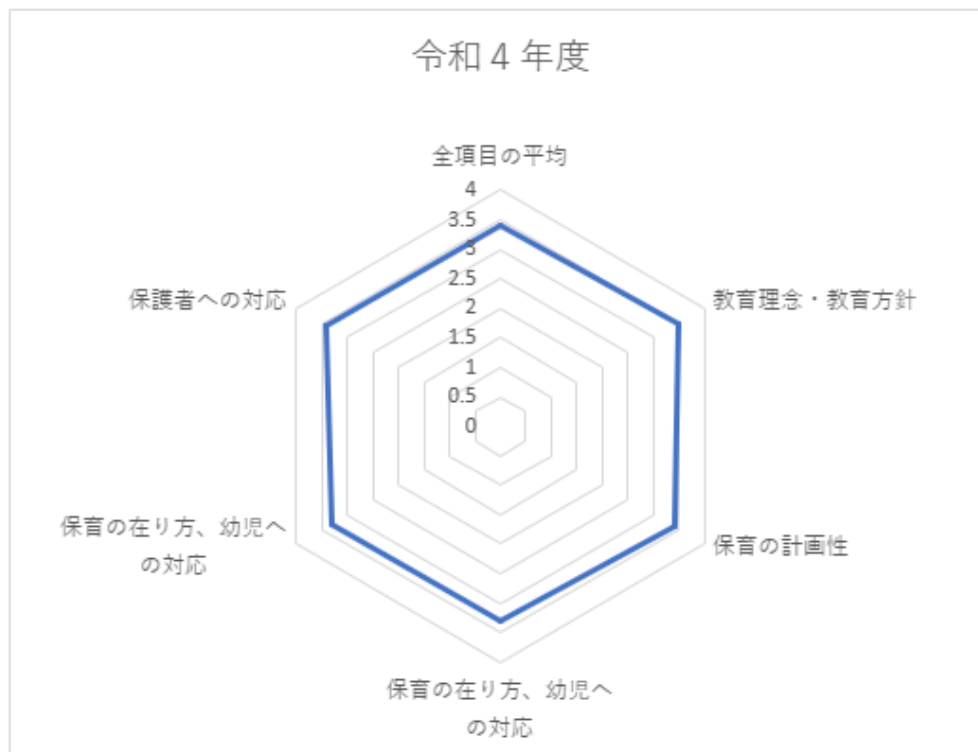
心身ともに健やかな子どもの成長を願い幼児教育に取り組んでいます。

これまでも、そしてこれからも、子どもにとって最高の幼稚園として理想的な教育内容
教育環境で子どもたちを育んでいきたいと願っています。

2. 本年度に定めた重点的に取り組みことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る
目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況



	評価項目	取組状況
教育理念・方針	幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針に従い編成している。	教育課程の説明会に延長以下学年の主任を出席させ、教育要領の理解に努め、教育課程の編成にあたっている。
保育の計画性	教育要領、教育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成している。	毎年指導計画に加筆、訂正を行い、子どもの実態に即した内容にするように努めている。
保育の在り方、 幼児への対応	子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	教師は日々の記録を参考にして子どもの実態を把握し、日案の作成に反映させるようにしている。
	学期ごとに各クラスの経営の成果と課題を報告する。	各クラスで月や週の目標を定め、毎学期ごとに達成状況を報告し合うようにしている。
	子どもの良さを認めて評価しようとしている。	一人一人の子どものよさを認め、教師が客観的に子どもを見る目を養うように努めている。
	あそびを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	自分で工夫して遊び、それが発展して友だちと協力して遊べる環境を準備するようにしている。
	規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	登園から降園までの一日の流れの中で、身に付けて欲しい生活習慣の獲得を促している。
教員としての 資質・能力・良識・適正	全職員が年に1回以上、公開保育を行う。	各教職員が公開保育を行い、お互いの保育を見合うことによって、よりよい保育環境を指摘し合うようにしている。
	各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料を提供する。	各種研修会や研究会に参加し学んだことを資料にまとめ、職員会等において提供し、共有化を図るようにしている。
保護者への対応	園だよりや合同研修会をと おして幼稚園の情報を発信 していく。	園の教育方針や取り組みを情報発信するように園だよりに記載し、積極的に取り組んでいく。
	教育目標や短期経営目標と 連鎖した評価項目を作成。 実施・反省・対応のサイクル を確立する。	PDCA サイクルを常に念頭におき、さらに充実した教育になるように努める。
	園の財務状況を積極的に公 開する。	公認会計士より適正に処理されているとの報告を受けている。
	保護者参加保育実施	保護者参加誕生会を実施。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全教職員の共通理解をより深め、各自の自己評価を基に、様々な話し合いを通して、本園としての方針を明確にし、それを実践することができた。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全管理	全職員が不審者等への対応を十分認識し、施設面での対応と合わせ、より安全管理を充実させていく。
自己点検、自己評価	教職員それぞれが、さらに課題を明確にし、自己研鑽に取り組む。
指導計画の編成	より需要に即した指導計画の作成に取り組んでいく。
園に対する保護者の満足度の把握	建学の精神に則った、私学の独自性に充分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められる幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。
特別支援教育	幼児に対応した個別の指導計画の作成を検討するとともに、医療・福祉の関係機関との連携をどのようにするかを検討したい。

6. 学校関係者評価委員会の意見

指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。